

し3回とって、くり返しのある三元配置法による実験計画を組み、1条件につき汚染布10枚、合計1080枚の標準汚染布を用いて洗浄試験を行った。結果を分散分析して結論を導いた。

(3) 結果 a. 機種と洗浄力 3種の洗濯機中二重噴流が一番高い洗浄効率を示し、次に大型攪拌・Z式の順となった。b. 浴比と洗浄力 二重噴流は浴比1:10ではあまり高い洗浄効率は示さないが浴比1:15では浴比1:20や1:30と変らぬ高い洗浄効率を示した。Z式は浴比1:10、1:15では洗濯物は動かず浴比1:20でやっと使用可能となった。大型攪拌の浴比1:15を洗浄力の標準とした場合、二重噴流では浴比1:10でもほぼ標準の洗浄力を示し、Z式の場合は浴比1:30で始めて標準の洗浄力を示す結果があらわれた。c. 時間と洗浄力 二重噴流・Z式では15min. 攪拌では30minの洗浄が望ましい。d. 機内のバラツキ 3種の洗濯機中二重噴流が一番大きくあらわれた。

43 電気洗濯機の洗浄性能について

お茶の水女子大学 ○矢部 章彦
鹿児島県立短大 中村 道子

(1) 目的 前年度に引き続き家庭用電気洗濯機の洗浄性能の詳細を、標準木綿人工汚染布を用い研究した。本年度は各種洗濯機中洗浄による繊維の損傷の最も少ないZ式洗濯機と比較的損傷の大きい二重噴流式洗濯機との洗浄性能を中心に実験を行った。

(2) 方法 大型攪拌式洗濯機を基準としてZ式洗濯機及び二重噴流式洗濯機の洗浄性能を、浴比1:10、1:15、1:20、1:30、洗浄時間5、15、30min、くり返